



# 読書活動日本一の まちづくりニュースVOL.14

編集：教育委員会読書推進課

## ◎ 第10回読書活動日本一のまちづくり推進大会を開催！！

2017年1月21日（土）に市音楽ホールで「第10回読書活動日本一のまちづくり推進大会」を開催しました。今回は、これまでの10年を振り返りつつ、これからの5年につなげる大会を目指し、プログラムを決定しました。

- オープニング：出水市少年少女合唱団  
（出水市読書の歌～すてきな宝物ほか）
- 読書活動推進10年のあゆみ（スライド上映）
- 表彰：

### 【読書活動優秀実践団体表彰】

帆木ノ上自治会、高尾野小学校親子読書会、鹿島保育園、切通小学校、野田中学校、切通小学校附属幼稚園、大川内中学校文芸サークル「ハッピークローバー」、ボランティアグループ「そらいろのたね」「虹色のゆめ」「紙ふうせん」

【読書活動10周年記念特別表彰】読書倶楽部 書耐呑語論（しょちゆのんごろ）

【読書大好きっ子読書標語、短作文特選受賞者】

- メッセージ発表

～読書活動日本一のまちづくりを目指して～

自治会連合会、子ども会育成連絡協議会、PTA連絡協議会、学校、読書ボランティアグループの5団体が第三次出水市読書活動推進計画につなぐ、これからの活動指針をメッセージという形で発表。

- 記念講演：

演 題 「子どもに伝えたい絵本の魅力」

講 師 文字・活字文化推進機構理事長 肥田 美代子 氏



「学校図書館に学校司書がいるということがいかに大事なことであるか。公立図書館や地域の書店を利用しましょう。」など、これまで国会議員として活動される中で、感じられたことを話された後、「子育てに絵本の読み聞かせを！」「年をとって、さらに絵本を読みましょう！」と童話作家として感じられることを話していただきました。また、行政に対しては、「読書活動推進をこれからも続けて行けば、この出水市は、日本一の読書活動のまちになります！」という力強いお言葉をいただきました。

## ◎ ブックスタート・セカンドブック事業楽しく開催！

2009年11月からブックスタート事業を開始し、そのフォローアップ事業として2015年4月からセカンドブック事業を開始しました。この事業は、教育委員会、健康増進課、市立図書館、読み聞かせボランティアが協力して行っている事業で、保健センターなどで行われる健診の場で行うことで、対象年齢の親子に出会える貴重な場になっています。

ブックスタート事業は、読み聞かせを行った後、絵本2冊とブックリストなどをオリジナルのバックに入れて、手渡しています。また、セカンドブック事業では、絵本1冊とブックリストを歯科相談受付時に手渡して、その後、一斉に読み聞かせをしたり、個別に読み聞かせをして、これを機会にご家庭で読み聞かせをしていただくように、きっかけづくりを行っています。

セカンドブックの会場にブックスタートで配布した絵本を持って行くと、「これ、うちにもあるよ。」と話してくれる子供もいます。ブックスタート事業で配布した絵本が、身近に置かれている様子がわかる瞬間です。また、おかあさん方も、日常的にご家庭で読み聞かせをしていらっしゃるのか、親子で読み聞かせを楽しそうにしている光景が、以前より多く見受けられるようになってきました。



## ◎ ブックカバーをリニューアル！



2013年度に出水市の読書活動と観光をPRすることを目的にブックカバーを作り、市外からの農家民泊の生徒や視察の方に配布したり、市内の学校に配布しました。今回、出水商業高等学校の協力を得て、「本を読むつるみんジャー」を新たに制作してもらい、これまでと趣の異なるブックカバーを作りました。

今後も、これまでと同様に農家民泊の生徒等に配布したり、市で開催される様々な会議などでも、要望があれば配布したいと思っています。